

# 『英語コーパス研究』 投稿規定

(2016年6月改定)

## 1. 投稿資格

投稿は会員に限る。共著の場合、第一著者は会員であることとし、その他の共著者については会員でなくてもよい。

## 2. 原稿の種類と長さ

### 【研究論文】

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 70 字×35 行 (Microsoft Word の場合は全角の文字数を指定するため、35 字を指定する)、周囲の余白 1 インチ (25.4mm)、6,000 語以内  
(Times New Roman 10.5 ポイント使用)

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 字×30 行、17 枚以内

(明朝体フォント (游明朝・ヒラギノ明朝など) 10.5 ポイント使用)

※和文中の英文のフォントについては Times New Roman を原則とするが、執筆者の意向でフォントの種類を変えてもよい。

(いずれも Abstract (英文 300 語以内)、図表、注、参考文献目録、付録、謝辞、著者情報などを含む。)

### 【研究ノート、総説論文・書評論文 (Review article, Book review)】

- ・研究ノート：論文のカテゴリーに属さない小論文や萌芽的な研究、新しい研究開発の成果など
- ・総説論文：体系的かつ網羅的に先行研究をまとめたもの
- ・書評論文：専門書の研究分野への貢献と課題点を明確にしたもの

英文 A4 サイズ 1 ページあたり 70 字×35 行 (Microsoft Word の場合は全角の文字数を指定するため、35 字を指定する)、周囲の余白 1 インチ (25.4mm)、4,500 語以内  
(Times New Roman 10.5 ポイント使用)

和文 A4 サイズ 1 ページあたり 35 字×30 行、12 枚以内

(明朝体フォント (游明朝・ヒラギノ明朝など) 10.5 ポイント使用)

※和文中の英文のフォントについても Times New Roman を原則とするが、執筆者の意向でフォントの種類を変えてもよい。

(いずれも Abstract (英文 300 語以内)、図表、注、参考文献目録、付録、謝辞、著

者情報などを含む。)

【その他（ソフトウェアレビュー，書評（図書紹介），コーパス紹介など）】

研究論文の半分以上の分量

### 3. 原稿作成時の注意

下記のように投稿者を特定できるような情報，その他，本人の同定につながると考えられる情報は，採用決定後の最終原稿に追記するものとし，投稿時には記載しないこと。

- (1) 謝辞など
- (2) 「本論は，英語コーパス学会第X回大会において口頭発表した内容に加筆修正を施したものである。」などの文言
- (3) 「筆者が収集し，WWW (<http://...>) で公開しているデータ…」など，筆者情報につながる URL 情報など
- (4) 「拙論（2006）で論じたように…」などと記して，参考文献目録で当該文献を参照している場合，「拙論」ではなく固有名詞をあげて表記すること。

### 4. 提出方法など

- (1) 下記の(A)原稿ファイル(Microsoft Word で作成したファイルとそのPDFファイル)，(B)著者情報ファイル，(C)論文投稿チェックシートの3種類のファイルを電子メール添付で提出。(B)，(C)についてはWeb掲載のフォーマットを使用のこと。
- (2) 電子メールの件名 (Subject) は「『英語コーパス研究』投稿原稿 (著者氏名)」とすること。
- (3) 提出先，締め切り期日等に関しては学会 Web サイトを参照のこと。

#### (A) 原稿ファイル

- －提出するファイル名は「原稿題名 (著者氏名)」とすること。
- －原稿題名の前に「論文」，「研究ノート」，「総説論文」，「書評論文」，「コーパス紹介」などの種類を明記すること。
- －原稿本体の冒頭には上記種類の別と題名のみを記すこと。

#### (B) 著者情報ファイル：「著者情報 (著者氏名)」

- a. 和文原稿の場合は英文タイトル，英文原稿には和文タイトル
- b. 著者氏名 (ふりがな・ローマ字表記)
- c. 所属
- d. 郵便番号・住所・電話番号
- e. 電子メールアドレス

#### (C) 論文投稿チェックシート：「論文投稿チェックシート (著者氏名)」

Web掲載のチェックシート1)~9)の必要項目にチェックを入れること。

## 5. スタイル

- (1) 注 (Notes) は原稿の末尾にまとめて付けること。
- (2) 本文や図表の体裁および参考文献目録の表記の統一などに関して、『英語コーパス研究』第23号を参照すること。

和文の場合は以下を原則とすること。

- ・ 数字・英字は全て半角とし、和文中に数字・英字を用いる際には前後にスペースを入れない。
- ・ 和文中では丸括弧・句読点類・その他の記号は全角とするが、英文引用中の記号類およびスペース、列挙に用いる(1)・(2)などでは半角を用いる。
- ・ (AAA, 2000: pp. 200-201; BBB, 2001) や (佐藤, 2000: p. 10) のような出典表示中では、英文・和文を問わず、著者名・発行年・ページ番号を区切る句読点およびスペースは半角とする。

参考文献目録の書式

### [1] 書籍

Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartvik (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*. Harlow: Longman.

長瀬真理・西村弘之 (1986) 『コンピュータによる文章解析入門—OCPへの招待』 オーム社.

### [2] 論文

#### a. 書籍に掲載のもの

Thompson, S. A. (1983) "Grammar and Discourse: The English Detached Participial Clause." In Klein-Andreu, F. (ed.), *Discourse Perspectives on Syntax*. New York: Academic Press, pp. 43-65.

新井洋一 (1988) 「電子辞書の英語学研究への応用」 齊藤俊雄・中村純作・赤野一郎 (編) 『英語コーパス言語学—基礎と実践—』 研究社出版, pp. 211-232.

#### b. 雑誌に掲載のもの

Tomlin, R. S. (1985) "Foreground-background Information and the Syntax of Subordination." *Text* 5, 1-2: 85-122.

吉村由佳 (1995) 「Free Text: Macintosh用検索プログラム」 『英語コーパス研究』 第2号 : 149-154.

### [3] Online resources

Anthony, L. (2016) AntConc [Computer Software] URL:

<http://www.laurenceanthony.net/software.html>

松岡光治（1996）『全国大学英語教官ホームページ一覧』 [オンライン資料] URL:

<https://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~matsuoka/index-j.html>

国立国語研究所（2016）『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 [デモ版オンラインデータベース] URL: <http://www.kotonoha.gr.jp/shonagon/>

### (3) 出典の傍証

括弧内傍証には原則として著者・日付方式を用いる。（ [author] , [date] : [page] ）

“Biber’s success may be due to the arbitrariness of features selected” (Nakamura, 1995: 86)

... according to J.R. Firth, “collocations are actual words in habitual company” (1957: 14)

## 6. 研究倫理

投稿にあたっては、下記文書などを参照し、不正行為のないようにすること。

独立行政法人科学技術振興機構『研究者のみなさまへ～研究活動における不正行為の防止について～』 [http://www.jst.go.jp/crest/crestweb/file/manual/guide\\_crest04.pdf](http://www.jst.go.jp/crest/crestweb/file/manual/guide_crest04.pdf)